



大学の世界展開力強化事業・GVプログラム（※）共催イベント 「木から文化を考える」に高校生を招待

概要

九州大学法学部は、平成 27 年 6 月 13 日（土）・14 日（日）に、農学部附属演習林・福岡演習林（福岡県糟屋郡篠栗町）にて大学の世界展開力強化事業・GV プログラム共催イベント「木から文化を考える」を、高校生 30 名を招待して実施します。本イベントは、法学研究院の河野俊行主幹教授（国際記念物遺跡会議（イコモス）副会長）が担当する全学生対象の「国際文化遺産法特殊講義」の一環として、農学部附属演習林長の大槻恭一教授の協力の下、合宿形式で行われ、参加する高校生は大学における真の国際教育とはどのようなものかを体験します。

背景

九州大学法学部は、平成 24 年に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択され、「スパイラル型協働教育モデル～リーガルマインドによる普遍性と多様性の均衡を目指して」（構想責任者：河野俊行主幹教授）と題した ASEAN 諸国との学生交流プログラムを実施しており、法学部に限らず複数の学部の学生が参加しています。平成 26 年度の中間評価では、最高評価である S 評価（優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。）を受けました。また、本年 6 月には、フィリピン、タイ、シンガポールから 15 名の学生を受け入れる短期交流プログラムを実施します。

一方、平成 27 年 4 月には、「GV プログラム」の第 1 期生が入学し、専門性に裏打ちされた「国際交渉力」を持つ人材を育成しています。

内容

本イベントは、「大学の世界展開力強化事業」「GV プログラム」参加学生および ASEAN からの受入留学生を対象とし、「国際文化遺産法特殊講義」の一環として開催します。同講義では、森林、樹木、木材、木造建築と保存など、木を多面的かつ文化的観点から捉え、その保護に貢献する法の機能を世界遺産の事例を用いながら学習しています。

イベント当日は、演習林の教員による「森林・樹木、木材」の側面からみた木についての講義、フィールドワーク、留学生の各出身国の「木の文化」についての発表などを通し、日本人学生、留学生、高校生がインタラクティブに学び合います。公募により招待された 30 名の高校生は、日本や海外の学生の発表などを間近に聴講し、ディスカッションに参加することで本格的な国際教育を体験し、大学での「学び」のイメージを具体化することができます。なお、使用言語は原則としてすべて英語です。

【実施概要】

[日時] 平成 27 年 6 月 13 日（土）10:00～17:00
14 日（日） 9:00～13:30

[場所] 九州大学農学部附属演習林・福岡演習林（福岡県糟屋郡篠栗町津波黒 394）

【用語解説】

（※）GV（Global Vantage）プログラム：法学の専門性と国際性を涵養する実質的な学部・修士一貫プログラム。詳細は <http://gv.law.kyushu-u.ac.jp/gv.html> を参照。

【お問い合わせ】

貝塚地区事務部総務課学術係 主任 ホール奈穂子
電話：092-642-3171
FAX：092-642-2349
Mail：kasgakuj@jimu.kyushu-u.ac.jp